

2016年9月8日配信

報道関係／文化・音楽ご担当者 各位

東京交響楽団 首席ハープ奏者 景山梨乃 第65回ミュンヘンARD国際音楽コンクール ハープ部門で第3位受賞

東京交響楽団(理事長:澤田秀雄)首席ハープ奏者景山梨乃(かげやま りの)が、2016年8月29日～9月7日に開催された第65回ミュンヘンARD国際音楽コンクール・ハープ部門において第3位を受賞しました。同コンクール・ハープ部門における日本人の入賞は、2009年第2位に入賞された山宮り子氏に続いて二人目です。

1952年にスタートし、今年で65回目の開催となるミュンヘンARD国際音楽コンクール・ハープ部門は、これまで1983年、2004年、2009年に開催されており、今回2016年で4回目となります。

1次審査に進んだ23名の中から、最終審査へ進んだのはフランス人奏者2名と景山の計3名。7日に行われた最終審査では最後に出演し、バイエルン放送交響楽団の演奏、コンスタンティン・トリックスの指揮のもと、ライネッケ作曲ハープ協奏曲ホ短調作品182を演奏しました。国際コンクールの中で最も難関のひとつであり、容易に第1位を出さないことでも知られる同コンクールでの入賞は快挙といえます。

公益財団法人東京交響楽団 専務理事 楽団長大野順二のコメント

「景山梨乃さんは、当楽団で12年振りに行ったハープ奏者オーディションに合格し、入団いたしました。以来、彼女の演奏は音楽監督ジョナサン・ノットをはじめ、指揮者陣、楽団員の信頼も大変厚く、今回のミュンヘンARD国際音楽コンクールへの入賞は確信しておりました。この結果は、彼女のこれまでの研鑽の成果であり、大変誇りに思います。」

景山梨乃 Rino Kageyama／東京交響楽団 首席ハープ奏者

東京藝術大学在籍中に福島賞、平山郁夫文化芸術賞を受賞。2011年、パリ・エコールノルマル音楽院最高ディプロムを審査員満場一致と特別評価を受け取得。その後ベルリン芸術大学で学び、同時にベルリンフィル・カラヤンアカデミー修了。日本ハープコンクール第1位、リレーラスキーンズ国際ハープコンクール2位(1位なし)など。新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等とコンチェルトを協演。フルートのエマニュエル・パユ、チェロのルートヴィヒ・クヴァント等と室内楽共演。ベルリンフィルハーモニー管弦楽団、ハンブルク歌劇場などドイツ各地のオーケストラで客演。2013、2014年度(公財)ロームミュージックファンデーション奨学生。これまでに渡辺かや、篠崎史子、早川りさこ、松井久子、イザベル・ペラン、マリー=ピエール・ラングラメの各氏に師事。2014年9月1日東京交響楽団入団、2016年9月1日から首席ハープ奏者を務める。1990年3月2日埼玉県所沢市出身(現在26歳)。趣味は相撲観戦。



<景山梨乃 東京交響楽団公演 出演予定>

- ・2016年9月24日第644回定期演奏会(サントリーホール)／ベルリオーズ: 劇的物語《ファウストの劫罰》
- ・2016年9月25日川崎回定期演奏会第57回(ミュゼ川崎シンフォニーホール)／9月24日公演と同演目
- ・2016年10月20日～27日 東京交響楽団創立70周年記念 ヨーロッパツアー(プロツラフ／ポーランド・ウィーン・ザグレブ・ロッテルダム・ドルトムント)

【取材等お問合せ】 公益財団法人東京交響楽団 広報本部 高瀬 takase@tokyosymphony.com
TEL: 044-520-1518 FAX: 044-543-1488